

2023年度

吉田学園公務員法科専門学校

公務員学科 市町村専攻

授業科目 (科目ID)	政治・経済		担当教員 (実務経験)	小林 功典、高崎 浩彰 有 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 4単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	30	時間数 60時間
授業目的	政治・経済は単純な暗記よりも、理解を伴った記憶の方が、知識が定着します。政治・経済の授業では、単に語句を暗記するのではなく、「仕組み」や「問題点」を理解することを目的とします。				
到達目標	政治・経済は、社会科学系では、最も確実な得点源となります。授業目的に基づき、応用力を身につけ、得意科目とすることを目標とします。				
テキスト・ 参考図書等	"絶対"合格シリーズ 社会科学 テキスト編 "絶対"合格シリーズ 社会科学 問題集編 "絶対"合格シリーズ 社会科学 ドリル編 担当教員作成によるレジュメ及び過去問題集				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	評価試験、小テスト、その他(授業態度等)を合わせて、総合的に評価します。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項	自学自習時は、復習を中心とした勉強を実施して下さい。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	経済のしくみ 市場と価格	講義と演習		
	2	経済のしくみ 市場と価格	講義と演習		
	3	企業のしくみ	講義と演習		
	4	企業のしくみ	講義と演習		
	5	景気と物価	講義と演習		
	6	景気と物価	講義と演習		
	7	金融と日本銀行の金融政策	講義と演習		
	8	金融と日本銀行の金融政策	講義と演習		
	9	財政政策	講義と演習		
	10	財政政策	講義と演習		
	11	為替レートと貿易	講義と演習		
	12	為替レートと貿易	講義と演習		
	13	国際経済との関わり	講義と演習		
	14	国際経済との関わり	講義と演習		
15	国民所得と経済成長(様々な経済指標)	講義と演習			

履修主題・履修内容	16	国民所得と経済成長(様々な経済指標)	講義と問題演習
	17	現代日本経済の構造と課題	講義と問題演習
	18	現代日本経済の構造と課題	講義と問題演習
	19	経済学史	講義と問題演習
	20	経済学史	講義と問題演習
	21	社会保障・情報化	講義と問題演習
	22	社会保障・情報化	講義と問題演習
	23	労働事情	講義と問題演習
	24	労働事情	講義と問題演習
	25	環境問題・農業問題	講義と演習
	26	環境問題・農業問題	講義と問題演習
	27	経済総合演習1	問題演習
	28	経済総合演習2	問題演習
	29	経済総合演習3	問題演習
30	定期試験対策	問題演習	

2023年度

吉田学園公務員法科専門学校

公務員学科 市町村専攻

授業科目 (科目ID)	日本史		担当教員 (実務経験)	小林 功典 有 無 ✓		
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	各時代の歴史的事実とその因果関係を正確に理解し、生きた知識としてしっかりと身につけさせることを目的とする。					
到達目標	授業目的に基づき、問題演習を繰り返し実施することにより、本試験に合格できる学力を獲得することを目標とする。					
テキスト・ 参考図書等	"絶対"合格シリーズ 人文科学 テキスト編 "絶対"合格シリーズ 人文科学 問題集編 "絶対"合格シリーズ 人文科学 ドリル編 担当教員作成によるレジュメ及び過去問題集					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	評価試験、小テスト、その他(授業態度等)を合わせて、総合的に評価します。			
	レポート	%				
	小テスト	20%				
	提出物	%				
	その他	20%				
履修上の 留意事項	自学自習時は、復習中心で勉強して下さい。また、確認テストを授業毎に実施します。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	古代1	講義と問題演習			
	2	古代2	講義と問題演習			
	3	古代3	講義と問題演習			
	4	古代4	講義と問題演習			
	5	古代5	講義と問題演習			
	6	古代6	講義と問題演習			
	7	中世1	講義と問題演習			
	8	中世2	講義と問題演習			
	9	中世3	講義と問題演習			
	10	中世4	講義と問題演習			
	11	近世1	講義と問題演習			
	12	近世2	講義と問題演習			
	13	近世3	講義と問題演習			
	14	近世4	講義と問題演習			
15	近世5	講義と問題演習				

2023年度

吉田学園公務員法科専門学校

公務員学科 市町村専攻

授業科目 (科目ID)	日本史		担当教員 (実務経験)	小林 功典 有 無 ✓		
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	各時代の歴史的事実とその因果関連を正確に理解し、生きた知識としてしっかりと身につけさせることを目的とする。					
到達目標	授業目的に基づき、問題演習を繰り返し実施することにより、本試験に合格できる学力を獲得することを目標とする。					
テキスト・ 参考図書等	"絶対"合格シリーズ 人文科学 テキスト編 "絶対"合格シリーズ 人文科学 問題集編 "絶対"合格シリーズ 人文科学 ドリル編 担当教員作成によるレジュメ及び過去問題集					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	評価試験、小テスト、その他(授業態度等)を合わせて、総合的に評価します。			
	レポート	%				
	小テスト	20%				
	提出物	%				
	その他	20%				
履修上の 留意事項	自学自習時は、復習中心として下さい。また、確認テストを授業毎に実施します。後期は、気が抜けやすいので注意して下さい。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	近世6	講義と問題演習			
	2	近世7	講義と問題演習			
	3	近代1	講義と問題演習			
	4	近代2	講義と問題演習			
	5	近代3	講義と問題演習			
	6	近代4	講義と問題演習			
	7	近代5	講義と問題演習			
	8	近代6	講義と問題演習			
	9	近代7	講義と問題演習			
	10	現代1	講義と問題演習			
	11	現代2	講義と問題演習			
	12	文化史1	講義と問題演習			
	13	文化史2	講義と問題演習			
	14	文化史3.4	講義と問題演習			
15	文化史5.6	講義と問題演習				

授業科目 (科目ID)	世界史		担当教員 (実務経験)	輕部 論 有 無 ✓		
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	用語の確認を中心に行い、世界史未履修者でも問題文がすんなり頭に入るレベルまでの向上を目標とする。毎講義前回範囲の小テストを実施し、各自で到達度を確認できるようにする					
到達目標	問題文に使用されるレベルの用語の基本的理解、及び用語を問われた場合に選択肢の中から選ぶことができるレベル					
テキスト・参考図書等	"絶対"合格シリーズ 人文科学 テキスト編 "絶対"合格シリーズ 人文科学 問題集編 "絶対"合格シリーズ 人文科学 ドリル編					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	評価試験、小テスト、その他(授業態度等)を合わせて、総合的に評価する			
	レポート	%				
	小テスト	20%				
	提出物	%				
	その他	20%				
履修上の留意事項						
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	四代文明・古代ギリシア世界	メソポタミア等の古代文明の相違を確認し、ギリシア民主化の過程を確認する			
	2	古代ギリシア世界・古代ローマ世界	ヘレニズム世界の成立からローマの帝政への流れを確認する			
	3	中世ヨーロッパ	中世ヨーロッパにおけるキリスト教との関わりから教皇権絶頂期への流れを確認する			
	4	中世ヨーロッパ	十字軍に遠征から、封建制の崩壊までの流れを確認する			
	5	近世ヨーロッパ	レコンキスタから三十年戦争への流れを確認する			
	6	近世ヨーロッパ	イギリス・フランスロシアを中心とした絶対王朝の成立期を確認する			
	7	市民革命	イギリス市民革命を確認する			
	8	市民革命	アメリカ独立戦争、フランス革命を確認する			
	9	ナポレオン時代・産業革命	ナポレオン時代と産業革命を確認する			
	10	19～20Cのヨーロッパ	イギリスヴィクトリア時代から帝政ロシア末期までを確認する			
	11	19～20Cのヨーロッパ・帝国主義から世界大戦へ	アメリカ南北戦争から第一次世界大戦までを確認する			
	12	ロシア革命と戦後の国際社会	ロシア革命と国際連盟発足の流れを確認する			
	13	戦間期の欧米諸国	欧米諸国の戦間期の動きを確認する			
	14	第二次世界大戦・戦後と冷戦のはじまり	第二次世界大戦と戦後処理について確認する			
15	戦後と冷戦のはじまり・冷戦の拡大、各国の首相	東ヨーロッパ諸国の社会主義国化から現代までの動きを確認する				

2023年度

吉田学園公務員法科専門学校

公務員学科 市町村専攻

授業科目 (科目ID)	世界史		担当教員 (実務経験)	輕部 論 有 無 ✓		
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	世界史 と同様に必要な情報の用語を目指す。前半は中国史を学習し、後半は世界史用語の確認を中心に行う。毎講義前回範囲の小テストを実施し、各自で到達度を確認できるようにする					
到達目標	問題文に使用されるレベルの用語の基本的理解、及び用語を問われた場合に選択肢の中から選ぶことができるレベル					
テキスト・ 参考図書等	"絶対"合格シリーズ 人文科学 テキスト編 "絶対"合格シリーズ 人文科学 問題集編 "絶対"合格シリーズ 人文科学 ドリル編					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	評価試験、小テスト、その他(授業態度等)を合わせて、総合的に評価する			
	レポート	%				
	小テスト	20%				
	提出物	%				
	その他	20%				
履修上の 留意事項						
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	中国史	殷代から漢代までを確認する			
	2	中国史	三国時代から五代十国時代までを確認する			
	3	中国史	宋代から明代までを確認する			
	4	中国史	清の成立から太平天国の乱までを確認する			
	5	中国史	洋務運動から五・四運動までを確認する			
	6	中国史	第一次国共合作から現代の中華人民共和国までを確認する			
	7	世界史用語まとめ	古代文明から中世ヨーロッパまでの範囲を中心に用語の確認をする			
	8	世界史用語まとめ	中世から近世までのヨーロッパの範囲を中心に用語の確認をする			
	9	世界史用語まとめ	市民革命から産業革命までの範囲を中心に用語の確認をする			
	10	世界史用語まとめ	帝国主義の時代から現代までの範囲を中心に用語の確認をする			
	11	世界史用語まとめ	殷代から元代までの範囲を中心に用語の確認をする			
	12	世界史用語まとめ	明代から現代の中華人民共和国までの範囲を中心に用語の確認をする			
	13	四大文明・古代ギリシア世界	古代文明と古代ギリシア世界を択一と用語穴埋めで確認する			
	14	古代ローマ世界・中世ヨーロッパ	古代ローマ世界からフランク王国分裂までの流れを択一と用語穴埋めで確認する			
15	中世ヨーロッパ	ビザンツ帝国の歴史と中世における封建制の崩壊までの流れを択一と用語穴埋めで確認する				

授業科目 (科目ID)	地理		担当教員 (実務経験)	森 俊亮 有 無 ✓		
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	系統別地理をテーマごとに学び、地理的思考力を身につける。 合わせて、過去問題演習から実践的理解力・応用力を高め、公務員試験での得点力アップにつなげる。					
到達目標	「地理」の基礎的学力を向上させ、かつ公務員試験における「地理」の出題傾向を理解する。					
テキスト・ 参考図書等	"絶対"合格シリーズ 人文科学 テキスト編 "絶対"合格シリーズ 人文科学 問題集編 "絶対"合格シリーズ 人文科学 ドリル編					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	評価試験、小テスト、その他(授業態度等)を合わせて、総合的に評価します。			
	レポート	%				
	小テスト	20%				
	提出物	%				
	その他	20%				
履修上の 留意事項						
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題			履修内容	
	1	地理学習のポイント、大陸と州			板書を使った説明と問題演習	
	2	地形			板書を使った説明と問題演習	
	3	気候			板書を使った説明と問題演習	
	4	気候			板書を使った説明と問題演習	
	5	気候			板書を使った説明と問題演習	
	6	平野			板書を使った説明と問題演習	
	7	平野			板書を使った説明と問題演習	
	8	土壌			板書を使った説明と問題演習	
	9	土壌			板書を使った説明と問題演習	
	10	風			板書を使った説明と問題演習	
	11	日本の気候			板書を使った説明と問題演習	
	12	地図			板書を使った説明と問題演習	
	13	世界の農牧業			板書を使った説明と問題演習	
	14	世界の農牧業			板書を使った説明と問題演習	
15	前期の総まとめ			板書を使った説明と問題演習		

授業科目 (科目ID)	地理	担当教員 (実務経験)	森 俊亮 有 無 ✓		
対象年次・学期	1年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	世界各国の地誌をエリア別に学び、1つのエリアの地理を系統横断的に理解できるようにする。 合わせて、過去問題演習で実践的理解力・応用力を高め、公務員試験での得点力アップにつなげる。				
到達目標	模擬試験「地理」の正答率の向上。				
テキスト・ 参考図書等	"絶対"合格シリーズ 人文科学 テキスト編 "絶対"合格シリーズ 人文科学 問題集編 "絶対"合格シリーズ 人文科学 ドリル編				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	評価試験、小テスト、その他(授業態度等)を合わせて、総合的に評価します。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	東アジアについて	板書を使った説明と問題演習		
	2	東南アジアについて	板書を使った説明と問題演習		
	3	東南アジアについて	板書を使った説明と問題演習		
	4	南アジアについて	板書を使った説明と問題演習		
	5	西アジアについて	板書を使った説明と問題演習		
	6	ヨーロッパについて	板書を使った説明と問題演習		
	7	ヨーロッパについて	板書を使った説明と問題演習		
	8	北アメリカ大陸について	板書を使った説明と問題演習		
	9	北アメリカ大陸について	板書を使った説明と問題演習		
	10	南アメリカ大陸について	板書を使った説明と問題演習		
	11	アフリカ大陸について	板書を使った説明と問題演習		
	12	オセアニアについて	板書を使った説明と問題演習		
	13	過去問演習	板書を使った説明と問題演習		
	14	過去問演習	板書を使った説明と問題演習		
15	後期の総まとめ	板書を使った説明と問題演習			

授業科目 (科目ID)	数的知能	担当教員 (実務経験)	岩城 浩司、山口 祐介 有 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	1年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	6単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	45	時間数	90時間
授業目的	試験に対応した様々な問題を単元ごとに基礎から応用まで学習し、数的知能(数的推理、資料解釈)の得点力を上げる。				
到達目標	各単元の基本解法を習得する。確認テスト及び単元テストの正答率を75%以上にする。				
テキスト・ 参考図書等	"絶対"合格シリーズ 数的推理・資料解釈 テキスト編 "絶対"合格シリーズ 数的推理・資料解釈 問題集編 "絶対"合格シリーズ 数的推理・資料解釈 ドリル編				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	評価試験、小テスト、その他(授業態度等)を合わせて、総合的に評価します。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項	公務員筆記試験の約3割が一般知能です。数的知能は、基礎計算が中心になるため、繰り返し取り組むことで理解度が格段に上がります。復習勉強の重要性を理解し取り組んでください。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	濃度	混合の基本		
	2	濃度	水の追加、食塩の追加		
	3	濃度	蒸発、3種混合と重さの比		
	4	濃度	2回に分けての計算、練習問題		
	5	旅人算	速さの基本、出会い算		
	6	旅人算	出会い算、追いかかけ算		
	7	旅人算	周回問題、練習問題		
	8	通過算	固定されたものの通過、電車同士の通過		
	9	通過算	動くもの(電車以外)の通過		
	10	流水算	流水算の基本、往復の時間差		
	11	流水算	具体的な値が少ない流水算		
	12	その他の速さ問題	平均の速さ、区間別の異なる速さ		
	13	その他の速さ問題	忘れ物による往復		
	14	時計算	長針と短針のなす角度、指定された時刻		
15	三角形と多角形	直線と角、外角、多角形、角の二等分線			

履修主題・履修内容	16	三角形と多角形	平行線と線分の比、合同・相似、特殊な直角三角形
	17	三角形と多角形	三平方の定理、三平方の定理の応用、三角形の重心
	18	三角形と多角形	テキスト例題、練習問題
	19	円	円と直線、円周角、円と接線
	20	円	方べきの定理、円周と弧、円に内接する三角形、テキスト例題
	21	資料解釈	導入
	22	資料解釈	実数と構成比
	23	資料解釈	実数と構成比
	24	資料解釈	実数と構成比
	25	場合の数(数え上げと順列)	サイコロの目、整数作成
	26	場合の数(数え上げと順列)	順列(並べ替え)、順列(隣り合う、連続する)
	27	場合の数(数え上げと順列)	連比、比と割合で表された情報の整理
	28	場合の数(数え上げと順列)	順列(円順列)、順列(数珠順列)、練習問題
	29	場合の数(順列と組合せ)	組合せ、余事象
	30	場合の数(順列と組合せ)	図形、順列と組合せ
	31	場合の数(順列と組合せ)	仕切り法、練習問題
	32	確率(順列と組合せ)	数え上げ、順列
	33	確率(順列と組合せ)	組合せ、練習問題
	34	確率(排反・独立)	排反事象と独立試行、じゃんけん
	35	確率(排反・独立)	樹形図形式、余事象、練習問題
	36	確率(反復試行・条件付確率・期待値)	反復試行、条件付き確率
	37	確率(反復試行・条件付確率・期待値)	期待値
	38	仕事算	仕事算の基本、3人以上の仕事算
	39	仕事算	仕事の交替、のべ算
	40	仕事算	2通りで表された仕事算
	41	比と割合	連比、比と割合で表された情報の整理
	42	比と割合	倍数算
	43	不等式	2項目の大小関係、4項目の大小関係(過不足算の不等式)
	44	不等式	勝敗ライン
	45	復習	前期のまとめ(復習問題)